

ServiceNow Certified Implementation Specialist- Vendor Risk Management

San Diego リリース - 2022 年 3 月 30 日更新

はじめに

ServiceNow Certified Implementation Specialist - Vendor Risk Management 試験仕様では、Vendor Risk Management (VRM) の Certified Implementation Specialist になる目的、対象者、テストオプション、試験コンテンツの範囲、テストフレームワーク、および前提条件を定義します。

試験の目的

Certified Implementation Specialist 試験は、合格者が ServiceNow Vendor Risk Management アプリケーションの構成、実装、および保守に貢献するためのスキルと基本的な知識を持っていることを証明します。

試験対象者

Certified Implementation Specialist 試験は、ServiceNow の顧客、パートナー、従業員、および ServiceNow Vendor Risk Management 実装者になることに興味のあるその他の人に利用できます。

試験準備

試験の問題は、公式の ServiceNow トレーニング教材、ServiceNow ドキュメントサイト、ServiceNow 開発者サイトに基づいています。オンラインで公開されているその他の学習教材は公式ではなく、試験準備用としては推奨されません。

ServiceNow トレーニングパスの前提条件

Certified Implementation Specialist – Vendor Risk Management 試験の準備として、以下の前提トレーニングコースを完了する必要があります。以下の ServiceNow トレーニングコースで提供される情報には、試験のソース資料が含まれています。

- ServiceNow Fundamentals
- Certified System Administrator
- Vendor Risk Management Fundamentals
- Vendor Risk Management Implementation

Event Management Fundamentals コースを完了すると、Certified Implementation Specialist – Vendor Risk Management 試験に登録するためのバウチャーコード (譲渡不可) が発行されます。

推奨される知識および教育

試験の準備として、以下のトレーニングコースの完了と認定の取得を推奨します。

- Vendor Risk Management (VRM) Simulator
- ServiceNow Get Started with Now Create
- ServiceNow Platform Implementation
- System Administration Advanced

その他のリソース

上記に加えて、試験の準備として、以下の追加のトレーニングコースが用意されています。

- Performance Analytics Essentials
- Service Portal Fundamentals
- Automated Test Framework Fundamentals
- Knowledge Management Fundamentals

試験の登録

ServiceNow は、Webassessor プラットフォームを使用して試験の登録を行う Kryterion と提携しています。メインライン試験は、Kryterion のテストセンターまたはオンライン (Kryterion の監督者が試験予約を監視する) で受けることができます。

試験に登録するには、Webassessor アカウントを作成し、自分の Now Learning アカウントにリンクする必要があります。

ServiceNow は、障害のある方または英語を第 2 言語とする方 (ESL) のために、資格試験の受験期間中に合理的な配慮を行います。

注：特別な設備を用意した試験を提供しています。詳細については、certification@servicenow.com までお問い合わせください。設備の種類によっては、試験まで 30 日間のリードタイムをいただく場合があります。

試験範囲

試験の内容は、重要なトピックと ServiceNow 実装中に通常行うアクティビティに対応する学習分野ごとに分かれています。それぞれの学習分野において、具体的な学習目標が示され、試験内でテストされます。

以下の表に、この試験で評価される学習分野、重み付け、サブスキルと、各分野の問題が占める割合 (%) を示します。リストされたサブスキルは、試験内容の包括的なリストと見なされるべきではありません。

	学習分野	試験における割合 (%)
1	Vendor Risk Management Fundamentals および Vendor Risk Management Review	24 %
	Vendor Risk Management について	
	Vendor Risk Management プロセス	
	技術的な詳細	
2	コアの構成	13 %
	ベンダーポートフォリオの構成	
	ベンダー連絡先の構成	
	ベンダー階層の構成	
	ベンダーセキュリティスコアリングの構成	
3	アセスメントの構成	25%
	アセスメントの基本	
	ベンダーリスクアセスメントの構成	
	ベンダーリスクアセスメントの生成	
	ベンダーリスクアセスメントの計算	
	ベンダーリスクアセスメントのライフサイクル	
4	リスクの問題とプロセス	13 %
	ベンダーリスク問題の構成	
	ベンダーリスクタスクの構成	
	ベンダーリスクプロセスワークフロー	

5	Vendor Portal の構成	15 %
	連絡先の構成	
	ベンダーアセスメントの処理と構成	
6	その他のアプリケーションの関係	5 %
	ServiceNow GRC の概要	
	リスクの監視とコンプライアンスの管理	
	その他のアプリケーションの関係	
7	ダッシュボードおよびレポート	5 %

試験の構成

この試験は 60 問の問題で構成されています。

複数の選択肢 (解答は 1 つ)

複数の選択肢がある問題では、4 つ以上の解答候補が提示されます。受験者は解答の選択肢を確認して、問題の解答として最も正しいものを選択します。

複数選択式問題 (該当するものをすべて選択)

複数の解答を選択する問題では、4 つ以上の解答候補が提示されます。解答をいくつ選択すればよいかは、問題に記載されています。受験者は解答の選択肢を確認して、問題の解答として正しいものをすべて選択します。部分点は与えられません。

試験結果

試験を完了して送信すると、すぐに合否結果が計算されて表示されます。

トピックレベルの結果は、試験の不合格者に提供されます。

再受験

不合格だった場合、バウチャーがなくても再受験できます。Webassessor で試験の登録と支払いを行います。詳細については、[『Candidate Journey Guide』の「試験の管理ポリシー > 再試験」](#)を参照してください。

例題

サンプル問題 #1

企業がメールやスプレッドシートなしでベンダーを管理するために役立つのは、次のうちのどれか？

- A. カスタマーサービスポータル
- B. ベンダーポータル
- C. ベンダーレジストリー
- D. ベンダー

正解 : B

例題 2 :

ベンダー連絡先フォームに含まれるのは、どのフィールドですか。

- A. Risk rating
- B. Rank tier
- C. Primary Contact
- D. Email

正解 : C、D

詳細情報

www.servicenow.com

